

●調査レポート

第 88 回 埼玉県内企業経営動向調査－2014 年 7～9 月期－

調査対象：県内企業 573 社 調査方法：アンケート方式（8月上旬 郵送回収）
 回答企業：297 社（回答率 51.8%） 業種別内訳：製造業 183 社 非製造業 114 社
 調査分析方法 BSI 方式 各設問に対して、良い・増加・過大と回答する割合から悪い・減少・不足と回答する割合を差し引いた数値で業況などを分析する方式

調査時点	為替レート(円/ドル)	日経平均株価(円)
(前回)2014年5月16日	101.55	14,096.59
(今回)2014年8月15日	102.50	15,318.34

概況

埼玉県内企業の業況感は、緩やかに持ち直している。今回(2014年7～9月期)の業況判断 BSI は -13 と、消費増税により後退した前回(4～6月期)に比べ 5 ポイント上昇している。1997年4月の消費増税時に -20(4～6月期)から -14(7～9月期)と 6 ポイント上昇したものと同程度の持ち直しとなっている。

規模別にみると、「規模の小さい企業」(従業員 100 人未満)、「規模の大きい企業」(従業員 100 人以上)ともに持ち直している。

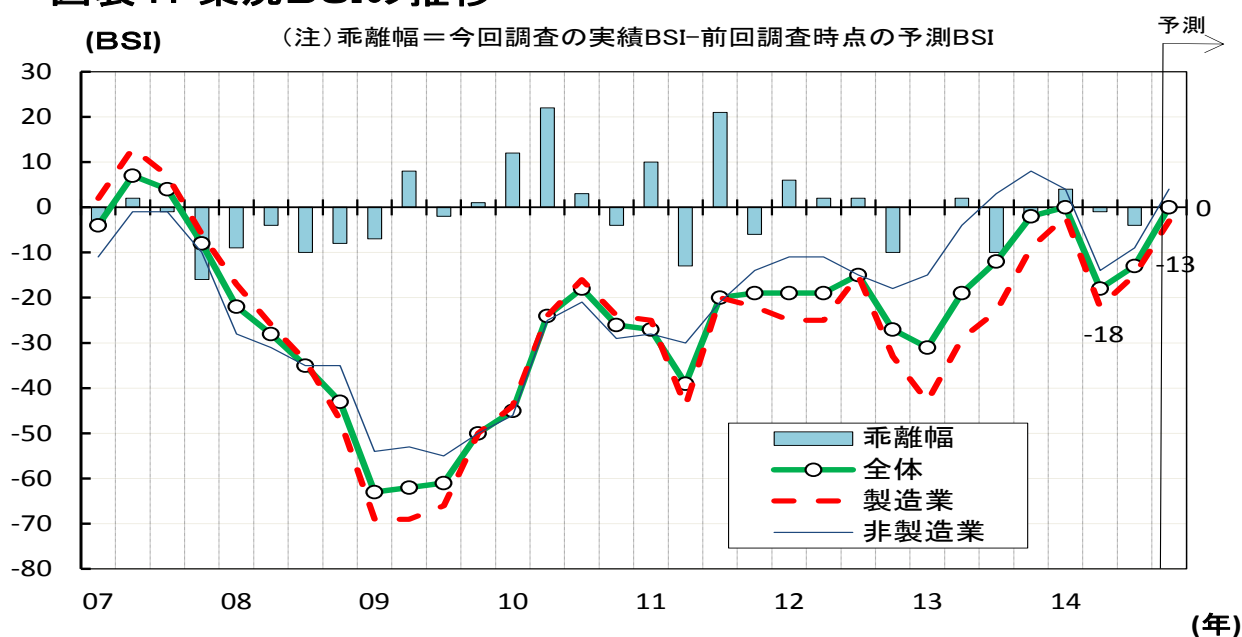
業種別にみると、製造業では、公共工事が寄与している金属製品、省力化や環境関連装置等が堅調な電気・情報通信機械器具、コンビニ向けが堅調な飲・食料品などが持ち直している。輸送用機械は、業況は持ち直しているものの、生産高は弱い動きとなっている。また、非製造業は、一般建設が改善、小売などが持ち直している。

先行き(2014年10～12月期)の業況判断 BSI は 0 と 13 ポイント上昇する。業種別にみると、製造業は、生産高の回復から、素材型の化学・プラスチック・ゴム製品、鉄鋼・非鉄金属、加工組立型の電子部品・デバイス、精密機械が、また、非製造業は、住宅建設、卸売、小売、運輸・倉庫などが持ち直す見通しとなっている。

図表1. 業況BSIの推移

(BSI)

(注) 乖離幅＝今回調査の実績BSI-前回調査時点の予測BSI



1. 業況判断 BSI(「良い」－「悪い」) ～緩やかに持ち直し～

県内企業の業況感は、緩やかに持ち直している。今回調査の業況判断 BSI は、-18 → -13 (前回→今回、以下同じ。)と5ポイント上昇している。1997年4月の消費増税時に -20(4～6月期)から -14(7～9月期)と6ポイント上昇したものと同程度の持ち直しとなっている。

規模別にみると、「規模の小さい企業」(従業員 100 人未満)、「規模の大きい企業」(従業員 100 人以上)ともに持ち直している。

業種別にみると、製造業では、公共工事が寄与している金属製品、省力化や環境関連装置等が堅調な電気・情報通信機械器具、コンビニ向けが堅調な飲・食料品などが持ち直している。輸送用機械は、業況は持ち直しているものの、生産高は弱い動きとなっている。また、非製造業は、一般建設が改善、小売などが持ち直している。

図表2. 規模別・業種別業況判断BSI

	2013年				2014年				2014年 10～12月 (先行き)
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	前回予想	
全体	-31	-19	-12	-2	0	-18	-13	-9	0
100人未満	-31	-26	-16	-10	-3	-18	-14	-9	-3
100人以上	-32	-11	-8	6	4	-19	-11	-9	2
製造業	-43	-29	-23	-9	-2	-22	-15	-8	-3
100人未満	-36	-32	-24	-18	-9	-25	-22	-7	-8
100人以上	-52	-26	-21	1	6	-18	-8	-10	2
素材型	-32	-26	-21	-6	0	-21	-15	-2	4
紙加工品等	-25	-8	-23	-17	25	-10	0	10	-8
化学・プラスチック・ゴム製品	-54	-38	-23	0	-42	-50	-46	0	0
鉄鋼・非鉄金属	-36	-38	-40	-8	-29	-8	-19	17	6
金属製品	-25	-29	-17	7	23	0	27	8	27
その他素材型	-18	-18	-11	-18	20	-31	-33	-31	-6
加工組立型	-54	-32	-19	0	-3	-16	-7	-9	-4
一般機械器具	-50	-24	-10	13	17	13	5	0	0
電気・情報通信機械器具	-50	-25	-42	-31	-7	-33	-8	-8	-8
電子部品・デバイス	-75	-54	-9	-23	-57	-25	-7	0	0
輸送用機械	-62	-42	-31	21	0	-31	-14	-23	-14
精密機械	-33	-23	-7	17	31	-9	-14	-18	0
生活関連型	-44	-26	-36	-36	-4	-42	-35	-17	-12
飲・食料品	-54	-45	-31	-17	25	-33	8	-17	0
印刷・同関連業	-33	-8	-42	-54	-36	-50	-77	-17	-23
その他製造業	-33	-33	-33	-40	0	-17	-33	-33	-33
非製造業	-15	-4	3	8	4	-14	-9	-10	4
100人未満	-24	-18	-4	4	5	-6	-2	-12	5
100人以上	-7	8	8	13	2	-20	-17	-8	2
一般建設	-21	-16	-10	22	21	16	29	6	24
住宅建設	-17	33	13	0	-31	-27	-31	0	-8
卸売	-16	-15	11	20	0	-21	-29	-29	0
小売	-12	-25	-19	-17	21	-38	-12	-29	-4
運輸・倉庫	-21	8	-8	21	-8	-27	-15	-27	8
不動産	-45	-15	23	13	0	-8	-17	0	-8
その他非製造業	11	18	15	0	0	13	7	13	14

今回調査から「化学・石油製品・プラスチック・ゴム製品」の業種名を、実態に合わせて「化学・プラスチック・ゴム製品」に変更した。

2. 売上（生産）高 BSI（「増加」－「減少」） ～製造、非製造ともにプラスに転じる～

製造業では、販売（受注）数量の増加から、素材型は金属製品など、加工組立型は一般機械器具、電気・情報通信機械器具など、生活関連型は飲・食料品がプラスに転じている。非製造業は一般建設、小売がプラスとなっている。先行きは、製造業は素材型の化学・プラスチック・ゴム製品、鉄鋼・非鉄金属がプラスに転じ、加工組立型の電気・情報通信機械器具、精密機械などがプラス幅を拡大、非製造業は住宅建設、卸売などがプラスに転じる見通しである。

図表 3 売上（生産）高 BSI

	(前々回調査) 14年 1～3 月期	(前回調査) 14年 4～6 月期	(今回調査) 14年 7～9 月期	(先行き) 14年 10～12 月期
全体	11	-20	6	20
製造業	4	-18	8	24
非製造業	22	-22	4	13
規模の小さい企業	6	-21	5	23
規模の大きい企業	16	-18	8	17

3. 経常利益 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業で僅かながらプラスに転じる～

製造業では、素材型は金属製品など、加工組立型は一般機械器具、生活関連型は飲・食料品がプラスに転じている。非製造業では一般建設、小売がプラスに転じている。先行きは、製造業では、素材型は化学・プラスチック・ゴム製品、加工組立型は電気・情報通信機械器具がプラスに転じ、非製造業では、住宅建設、運輸・倉庫がプラスに転じる見通しとなっている。

図表 4 経常利益 BSI

	(前々回調査) 14年 1～3 月期	(前回調査) 14年 4～6 月期	(今回調査) 14年 7～9 月期	(先行き) 14年 10～12 月期
全体	-1	-24	1	15
製造業	-5	-22	2	19
非製造業	4	-27	-2	9
規模の小さい企業	-7	-28	-8	15
規模の大きい企業	4	-20	10	16

4. 海外需要 BSI（「増加」－「減少」） ～製造業でプラス～

製造業は、素材型の金属製品がプラスに転じ、加工組立型が一般機械、電子部品・デバイス、精密機械などでプラスとなっている。先行きも素材型、加工組立型でプラスの見通しである。

図表 5 海外需要 BSI

	(前々回調査) 14年 1～3 月期	(前回調査) 14年 4～6 月期	(今回調査) 14年 7～9 月期	(先行き) 14年 10～12 月期
全体	13	9	13	11
製造業	17	10	18	15
非製造業	4	5	0	2
規模の小さい企業	10	7	4	7
規模の大きい企業	16	10	21	15

5. 生産（販売）設備 BSI（「過剰」－「不足」） ～非製造業で不足～

製造業では素材型で過剰感が薄れている。非製造業では、卸売、運輸・倉庫などで不足感がみられる。

図表 6 生産（販売）設備 BSI

	(前々回調査) 14年1～3月期	(前回調査) 14年4～6月期	(今回調査) 14年7～9月期	(先行き) 14年10～12月期
全体	-3	0	2	0
製造業	-1	6	4	2
非製造業	-6	-7	-3	-3
規模の小さい企業	-7	4	3	-2
規模の大きい企業	1	-3	0	2

6. 雇用人員 BSI（「過剰」－「不足」） ～非製造業を中心に不足感が強まる～

製造業では素材型や生活関連型で不足感がみられる。非製造業では一般建設や運輸・倉庫などで不足感が強まっている。

図表 7 雇用人員 BSI

	(前々回調査) 14年1～3月期	(前回調査) 14年4～6月期	(今回調査) 14年7～9月期	(先行き) 14年10～12月期
全体	-20	-12	-19	-20
製造業	-6	1	-5	-7
非製造業	-39	-30	-40	-41
規模の小さい企業	-24	-6	-13	-18
規模の大きい企業	-16	-18	-26	-23

7. 資金繰り BSI（「楽」－「苦」） ～非製造業で「楽」超に転じる～

製造業は加工組立型で持ち直し、非製造業は一般建設、小売でプラスに転じている。

図表 8 資金繰り BSI

	(前々回調査) 14年1～3月期	(前回調査) 14年4～6月期	(今回調査) 14年7～9月期	(先行き) 14年10～12月期
全体	4	-1	4	2
製造業	3	-1	1	1
非製造業	6	-2	8	3
規模の小さい企業	-3	-6	-4	-6
規模の大きい企業	11	4	13	10

(以上)